

令和 7 年度 浜松市一般会計・特別会計決算（速報値）について

令和 7 年度 浜松市一般会計・特別会計決算（速報値）について発表します。

1 歳入、歳出決算見込額

- 一般・特別会計の合計では、前年度に比べて歳入 160 億円の増、歳出 206 億円の増。
- 一般会計の歳入では、市税、地方交付税の増などにより、136 億円の増。
歳出では、家庭福祉支援事業の増などにより 170 億円の増。

（単位：百万円）

区 分	歳 入			歳 出		
	7 年度	6 年度	増減	7 年度	6 年度	増減
一 般 会 計	430,098	416,537	13,560	420,838	403,849	16,988
特 別 会 計	227,547	225,152	2,395	225,033	221,441	3,592
合 計	657,645	641,689	15,956	645,870	625,290	20,580

※表示単位未満四捨五入のため、内訳と合計や増減の計算が一致しないことがある。

2 令和 7 年度一般会計決算の収支

- 歳入決算額と歳出決算額の収支差（92.6 億円）から翌年度繰越財源（40.9 億円）を控除した実質収支は、51.7 億円（R6：73.7 億円）。
- 実質収支から黒字要素や赤字要素を控除した実質単年度収支は、△45.5 億円（R6：3.6 億円）。

3 財政指標からみる財政状況

（1）経常収支比率

市税、普通交付税及び地方消費税交付金の増等による経常一般財源の増が、システム標準化に伴う物件費や公定価格改定に伴う私立保育所等に対する扶助費の増等を上回ったことにより、経常収支比率が改善。

（2）実質公債費比率・将来負担比率

- 主に元利償還金の減により、比率が改善。
- 将来負担比率は、令和 6 年度に引き続き充当可能財源等が将来負担額を上回る。

項 目	7 年度	6 年度	増 減	早期健全化基準
経常収支比率	92.1%	93.3%	△1.2 ポイント	
実質公債費比率	2.6%	3.3%	△0.7 ポイント	25.0%
将来負担比率	— (△26.0%)	— (△31.9%)	— (5.9 ポイント)	400.0%

※将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回るため「-」と表示。なお、参考として（）内に上回る額の比率をマイナス（△）で表示

(3) 市債残高

区 分	7 年度末	6 年度末	増 減
市債残高	4,254 億円	4,210 億円	44 億円
(うち一般会計)	(2,408 億円)	(2,382 億円)	(27 億円)

※表示単位未満四捨五入のため、内訳と合計や増減の計算が一致しないことがある。

4 市税の状況

- 市税収入は 1,606 億円となり、前年度（R6：1,519 億円）に比べ、87 億円の増。
- 個人市民税は、令和 6 年度の定額減税の終了及び個人所得の伸びにより前年度（R6：632.6 億円）に比べ 85.7 億円増の 718.3 億円
- 法人市民税は、主に製造業の減により前年度（R6：110.8 億円）に比べ 10.9 億円減の 100.0 億円。
- 固定資産税は、地目変更による土地分の増、新增築による家屋分の増及び設備投資の増による償却資産分の増により前年度（R6：564.8 億円）に比べ 9.7 億円増の 574.5 億円。
- 現年分収入率は、前年度（R6：99.53%）並みの 99.52%

(単位：百万円)

区 分		7 年度	6 年度	増 減
市民税	個人	71,827	63,257	8,570
	法人	9,999	11,084	△1,085
固定資産税		57,446	56,476	970
その他		21,306	21,084	222
市税 計		160,578	151,901	8,677
現年分収入率		99.52%	99.53%	△0.01 ポイント
滞納繰越額		1,910	1,753	157

※表示単位未満四捨五入のため、内訳と合計や増減の計算が一致しないことがある。

